

いわき市感染症発生動向調査(週報)

2025年第17週(4月21日～4月27日)

○警報

【警報】伝染性紅斑

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

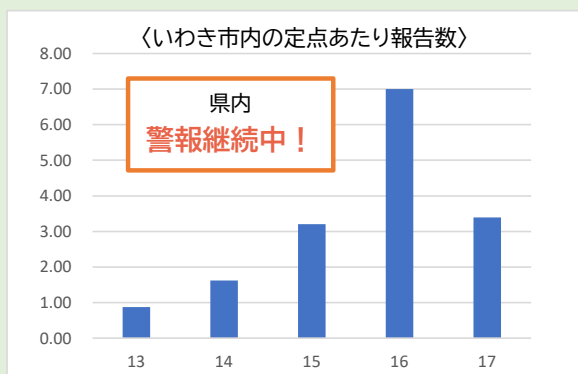
○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向 (過去2週間との比較)
		今週	前週	
1	伝染性紅斑	3.40	7.00	減少
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.20	4.60	減少
3	感染性胃腸炎	2.40	2.80	減少

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

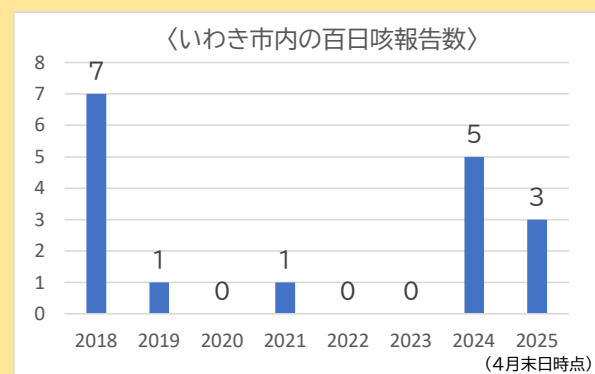
(1) 伝染性紅斑(りんご病)



・全国では、過去5年と比べ報告数が多い状況が続いており、**県内で警報継続中**です。市内でも流行がみられています。

・妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼす恐れもあることから、人混みを避け、こまめな手洗い、マスクの着用等の感染対策を心がけましょう。

(2) 百日咳



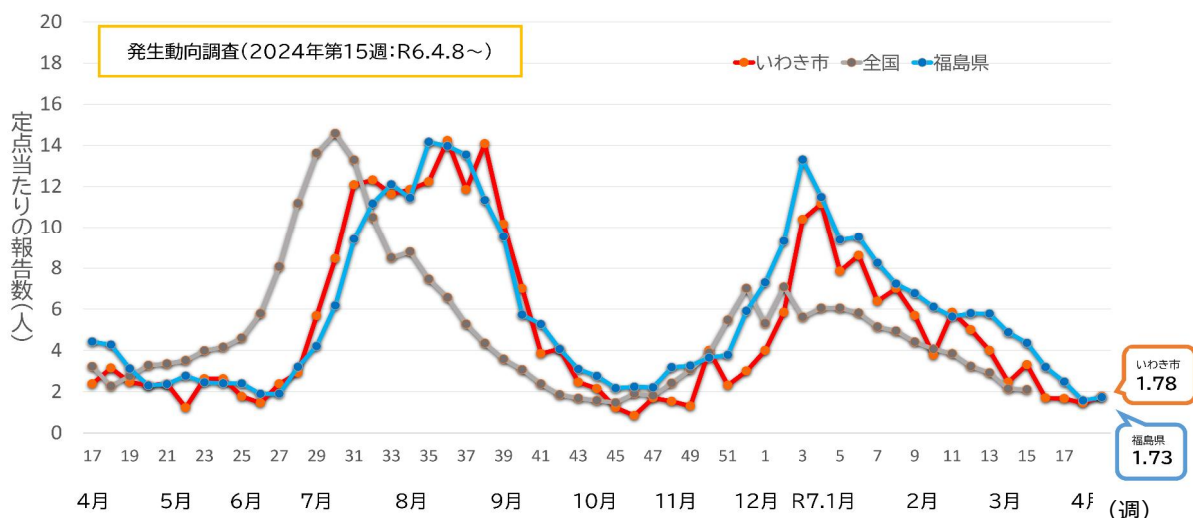
・全国的に報告数が多い状況が続いています。

・百日咳は、けいれん性の激しい咳発作を生じる感染症です。鼻水、咳による飛沫・飛沫核感染が主な感染経路のため、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症と同様、基本的な感染対策が有効です。

・乳幼児の場合は重症化のおそれがあり、注意が必要です。早期のワクチン接種が有効です。また、乳幼児のいる家庭では、保護者を含めた家族内の感染に注意しましょう。

○新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症に係る定点医療機関当たりの報告数の推移



5類移行後も新型コロナウイルスの感染力や病原性は変わっていません。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、引き続き感染予防対策を心がけましょう。